

単元(題材名)	1. グラフと ひょう	
主領域／領域／内容の区分	D データの活用	

【到達目標】

知・技	○ 身の回りにある数量を分類整理して，簡単なグラフや表に表したり読んだりすることができる。
思・判・表	○ データを整理する観点に着目し，身の回りにある事象の特徴についてグラフや表から考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにある数量を分類整理して，グラフや表に表すよさを知り，グラフに表そうしたり，表にまとめようしたりする。

【評価規準】

知・技	○ 昼休みにしたことと人数を，簡単なグラフに表している。
	○ 昼休みにしたことと人数を表したグラフを読んでいる。
	○ 昼休みにしたことと人数を，簡単な表に表している。
	○ 昼休みにしたことと人数を表した表を読んでいる。
	○ クラスで飼いたい生き物と人数を，表したグラフを読んでいる。
思・判・表	○ 事象をグラフや表に表し，その特徴をグラフや表を使って考え，説明している。
	○ クラスで飼いたい生き物と人数を表したグラフから，何に注目して，読み取ったかを説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにある数量を分類整理し，グラフに表したり表にまとめたりして，データの特徴を読み取っている。

単元(題材名)	2. たし算の ひっ算	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 筆算形式による2位数の加法の計算のしかたがわかり，計算することができる。
	○ 具体的な場面で，加法の交換法則が成り立つことがわかる。
思・判・表	○ 2位数の加法の筆算のしかたを，数のしくみをもとに考え，説明することができる。
	○ 2位数の加法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2位数の加法の計算のしかたを考え，考えたことを友だちと話し合い，自分の考えをまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ くり上がりのない(2位数)+(2位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ くり上がりのない(2位数)+(1位数)，(1位数)+(2位数)の計算を筆算でしている。
	○ くり上がりのある(2位数)+(2位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ くり上がりのある(2位数)+(1位数)，(1位数)+(2位数)の計算を筆算でしている。
	○ 筆算，たされる数，たす数の用語とその意味を理解している。
	○ 加法では，交換法則が成り立つことを理解している。
思・判・表	○ (2位数)+(2位数)の計算のしかたを考え，説明している。
	○ (2位数)+(2位数)の筆算のしかたを考え，説明している。
	○ (2位数)+(1位数)や(1位数)+(2位数)の筆算のしかたを考え，説明している。
	○ 2位数の加法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)+(2位数)や(1位数)+(2位数)の計算のしかたを考え，その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 加法では，交換法則が成り立つことを，たされる数とたす数を入れかえて計算して確かめている。

単元(題材名)	3. ひき算の ひっ算	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 筆算形式による2位数の減法の計算のしかたがわかり，計算することができる。
	○ 具体的な場面で，ひき算の答えにひく数をたすと，ひかれる数になることがわかる。
思・判・表	○ 2位数の減法の筆算のしかたを，数のしくみをもとに考え，説明することができる。
	○ 2位数の減法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2位数の減法の計算のしかたを考え，考えたことを友だちと話し合い，自分の考えをまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ くり下がりのない(2位数)－(2位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ くり下がりのない(2位数)－(1位数)や(2位数)－(何十)の計算を筆算でしている。
	○ くり下がりのある(2位数)－(2位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ (何十)－(2位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ くり下がりのある答えが1位数になる筆算や(何十)－(1位数)の筆算のしかたがわかり，筆算で計算している。
	○ ひかれる数，ひく数の用語とその意味を理解している。
	○ ひき算の答えにひく数をたすと，ひかれる数になることを知り，答えのたしかめをしている。
思・判・表	○ (2位数)－(何十)の計算のしかたを考え，説明している。
	○ (2位数)－(1・2位数)の筆算のしかたを考え，説明している。
	○ (何十)－(1・2位数)の筆算のしかたを考え，説明している。
	○ 2位数の減法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)－(1・2位数)や(何十)－(1・2位数)の計算のしかたを考え，その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 減法では，答えにひく数をたすとひかれる数になることを，計算して確かめている。

単元(題材名)	4. 長さの たんい	
主領域／領域／内容の区分	C 測定	

【到達目標】

知・技	○ 長さの単位cmやmmを知り， $1\text{cm} = 10\text{mm}$ の関係がわかる。
	○ ものさしの目盛りの読み方や使い方がわかる。
	○ ものさしを使って長さを測定したり，必要な長さの直線をひいたりできる。
	○ 長さの加法と減法の計算ができる。
思・判・表	○ 長さを予想してから測定し，長さの量感を身につけることができる。
	○ 長さの適切な単位を選択したり，単位の間係を説明したりすることができる。
	○ 加減計算を使って，長さの適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのものの長さをcm，mmの単位を使って測ることに興味をもち，予想をしながら測定しようとする。
	○ 身の回りのものの長さを，測定する大きさに合った単位で表そうとする。

【評価規準】

知・技	○ 長さの単位cmやmmを知り， $1\text{cm} = 10\text{mm}$ の関係を理解している。
	○ ものさしの目盛りの読み方を知り，ものさしを使っていろいろなものの長さを測定している。
	○ $1\text{cm} = 10\text{mm}$ の関係から，複名数を単名数になおしたり，単名数を複名数になおしたりしている。
	○ 複名数を単名数になおして，長さの大小比較をしている。
	○ ものさしを使って，直線のひき方を理解し，与えられた長さの直線をひいている。
	○ 長さを予想してから，いろいろなものの長さを測定している。
	○ 長さの加減計算をしている。
思・判・表	○ 長さを目的に応じた単位で表現でき，量感を身につけている。
	○ 加減計算を使って，長さの適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのものの長さをcm，mmの単位を使って測ることに興味をもち，予想をしながら測定している。
	○ 長さの単位であるcm，mmを使うよさを知り，進んで用いている。

単元(題材名)	5. 3けたの 数	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 3位数の数の数え方，表し方，読み方を知り，十進位取り記数法による数の表し方がわかる。
	○ 3位数の数の相対的な大きさがわかる。
	○ 3位数の数について，大小の比べ方を理解し，大小の関係を不等号を使って表すことができる。
	○ 1000という数の大きさや命数法がわかる。
	○ くり上がりのある(何十)+(何十)，くり下がりのある(百何十)－(何十)，(何百)±(何百)の計算のしかたを理解し，計算することができる。
思・判・表	○ 3位数の数を，数の構成をもとにいろいろな見方で表現することができる。
	○ くり上がりのある(何十)+(何十)，くり下がりのある(百何十)－(何十)，(何百)±(何百)の計算のしかたを考えることができる。
	○ 何十や何百の加法や減法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 3位数の数をいろいろな見方で表現しようとする。
	○ くり上がりのある(何十)+(何十)，くり下がりのある(百何十)－(何十)の計算のしかたを考え，友だちと話し合っ自分の考えをまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 大きな数を数えるときは，10や100のまとまりをつくと数えやすくなることを理解している。
	○ 位取り板に対応させて，百の位の用語を理解している。
	○ 3位数の読み方や表し方，数のしくみを理解している。
	○ 3位数で空位がある数の表し方や読み方，数のしくみを理解している。
	○ 3位数の相対的な大きさを理解している。
	○ 数直線上の3位数を読み取ったり，3位数を数直線上に表したりしている。
	○ 3位数の大小比較のしかたを理解し，大小の関係を不等号を使って表している。
	○ 100を10個集めた数を1000と書いて，千と読むことを理解している。
	○ (何十)+(何十)，(百何十)－(何十)，(何百)±(何百)の計算のしかたを理解し，計算している。
思・判・表	○ 3位数の数を，数の構成をもとにいろいろな見方で表現している。
	○ (何十)+(何十)，(百何十)－(何十)，(何百)±(何百)の計算のしかたを考え，説明している。
	○ 何十や何百の加法や減法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 何百何十の数を，1目盛りが10で表された数直線を用いて，いろいろな見方をしている。
	○ くり上がりのある(何十)+(何十)，くり下がりのある(百何十)－(何十)の計算のしかたを考え，その考えをわかりやすく説明している。

単元(題材名)	6. 水のかさのたんい	
主領域／領域／内容の区分	C 測定	

【到達目標】

知・技	○ かさの単位dL, Lを知り, $1L = 10dL$ の関係がわかる。
	○ 簡単な場合について, かさの加法と減法の計算をすることができる。
	○ かさの単位mLを知り, $1L = 1000mL$ の関係がわかる。
思・判・表	○ かさを予想してから測定し, かさの量感を身につけることができる。
	○ かさの適切な単位を選択したり, 単位の関係を説明したりすることができる。
	○ 加減計算を使って, かさの適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのもののかさをL, dL, mLの単位を使って量ることに興味をもち, 予想をしながら測定しようとする。
	○ 身の回りのもののかさを, 測定する大きさに合った単位で表そうとする。

【評価規準】

知・技	○ かさの普遍単位であるdLを知り, ものかさをdL単位で表している。
	○ 大きなかさの単位であるLを知り, $1L = 10dL$ の関係を理解している。
	○ 1dLは, 1Lますを10等分したうちの1つ分であることを理解している。
	○ やかんやバケツのかさをL, dL単位で表している。
	○ かさの加減計算のしかたを理解し, 計算している。
	○ かさを予想してから, いろいろなもののかさを量っている。
	○ 小さいかさの単位mLを知り, $1L = 1000mL$ の関係を理解している。
思・判・表	○ 目的に応じた単位で表現でき, 量感を身につけている。
	○ 加減計算を使って, かさの適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのもののかさをL, dL, mLの単位を使って量ることに興味をもち, 予想をしながら測定している。
	○ かさの単位であるL, dL, mLを使うよさを知り, 進んで用いている。

単元(題材名)	7. 時こくと 時間	
主領域／領域／内容の区分	C 測定	

【到達目標】

知・技	○ 時刻と時間の意味の違いを理解し，正しく用いることができる。
	○ 時間の単位の関係，1時間＝60分，1日＝24時間がわかる。
	○ 午前，午後の用語とその意味を理解し，それらを用いて時刻を表すことができる。
思・判・表	○ 簡単な場合について，時刻や時間の求め方を時計や図を用いて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 授業が始まる時刻や休み時間など，日常生活を時刻や時間を使って表そうとする。

【評価規準】

知・技	○ 時刻と時間の意味の違いを理解し，正しく用いている。
	○ 時間の単位の関係，1時間＝60分を理解している。
	○ 午前，午後の用語とその意味を知り，午前，午後を使って時刻を読んでいる。
	○ 時間の単位の関係，1日＝24時間を理解している。
	○ 時計を見て，正時から正時までの時間を求めている。
思・判・表	○ 簡単な場合について，時刻や時間の求め方を時計や図を用いて考え，説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ りえさんの1日の様子など，日常生活を時刻や時間を使って表している。

単元(題材名)	8. 計算のくふう	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 加法の結合法則が成り立つことや()の意味を知り，3口の計算を工夫して手際よく計算することができる。
思・判・表	○ 加法では，結合法則や交換法則が成り立つ理由を考え，説明することができる。
	○ ()を使って表された式の考え方を読み取り，説明することができる。
	○ 3つの数量が関係する適用問題を，計算を工夫して解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 結合法則や交換法則を利用し，計算のしかたを考え，考えたことを友だちと話し合い，自分の考えをまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 加法では，結合法則や交換法則が成り立つことを知り，3口の計算を工夫して手際よく計算している。
	○ ()の意味を知り，()を使った式に表し，計算することができる。
思・判・表	○ 加法では，結合法則や交換法則が成り立つことを，具体的な場面を使って考え，説明している。
	○ ()を使って表された式の考え方を読み取っている。
	○ 3つの数量が関係する適用問題を，計算を工夫して解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 加法では，結合法則が成り立つことを，計算の順序を入れかえて計算して確かめている。
	○ 結合法則や交換法則を利用し，工夫して計算している。

単元(題材名)	9. たし算と ひき算の ひっ算	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ $(2\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数}) = 3\text{位数}$ の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ $(\text{百何十何}) - (2\text{位数}) = 2\text{位数}$ の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ 波及的にくり下がる $(\text{百何}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ 百の位にくり上がらない $(3\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数})$ や百の位からくり下がりない $(3\text{位数}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ を筆算で計算することができる。
思・判・表	○ $(2\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数}) = 3\text{位数}$ の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ $(\text{百何十何}) - (2\text{位数}) = 2\text{位数}$ の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ 波及的にくり下がる $(\text{百何}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ 2・3位数の加法や減法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数}) = 3\text{位数}$ の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。
	○ $(\text{百何十何}) - (2\text{位数}) = 2\text{位数}$ の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ $(2\text{位数}) + (2\text{位数})$ で、百の位にくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数}) + (2\text{位数})$ で、十の位と百の位にくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数}) + (2\text{位数})$ で、百の位に波及的にくり上がる計算を筆算でしている。
	○ 百の位からくり下がる $(\text{百何十何}) - (2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
	○ くり下がりが2回ある $(\text{百何十何}) - (2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
	○ 波及的にくり下がる $(\text{百何}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ や $(\text{百}) - (2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
	○ 百の位にくり上がらない $(3\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
	○ 百の位からくり下がりない $(3\text{位数}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
思・判・表	○ $(2\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数}) = 3\text{位数}$ の計算のしかたを考え、説明している。
	○ $(\text{百何十何}) - (2\text{位数}) = 2\text{位数}$ の計算のしかたを考え、説明している。
	○ 波及的にくり下がる $(\text{百何}) - (1 \cdot 2\text{位数})$ の計算のしかたを考え、説明している。
	○ 2・3位数の加法や減法を使って、適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\text{位数}) + (1 \cdot 2\text{位数}) = 3\text{位数}$ の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ $(\text{百何十何}) - (2\text{位数}) = 2\text{位数}$ の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。

単元(題材名)	10. 長方形と 正方形	
主領域／領域／内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 三角形，四角形の用語とその定義がわかり，弁別することができる。
	○ 図形の辺や頂点の用語とその意味がわかり，三角形や四角形の構成要素を調べることができる。
	○ 直角の用語とその意味がわかる。
	○ 長方形や正方形の用語と定義や性質がわかり，弁別したりかいたりすることができる。
	○ 直角三角形の用語とその定義がわかり，弁別したりかいたりすることができる。
思・判・表	○ 辺の長さや直角に着目して，長方形，正方形，直角三角形の意味や性質を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 合同な長方形や正方形，直角三角形を敷き詰めた模様づくりを通して，幾何学的な模様に関心をもち図形感覚を豊かにしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 三角形と四角形の用語とそれらの定義を理解している。
	○ 辺と頂点の用語とそれらの意味を理解している。
	○ 点と点をむすんで，三角形と四角形をかいている。
	○ 直角の用語とその意味を理解している。
	○ 長方形の用語と定義，性質を理解し，長方形を弁別している。
	○ 正方形の定義を理解し，正方形を弁別している。
	○ 直角三角形の用語と定義を理解し，直角三角形を弁別している。
	○ 与えられた大きさの長方形を方眼にかいている。
	○ 与えられた大きさの正方形を方眼にかいている。
	○ 与えられた大きさの直角三角形を方眼にかいている。
思・判・表	○ 三角形や四角形を弁別し，その理由を説明している。
	○ 三角形や四角形の紙を1本の直線で切り，どんな形ができるか調べている。
	○ 正方形を弁別し，その理由を説明している。
	○ 直角三角形を弁別し，その理由を説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 合同な長方形や正方形，直角三角形を敷き詰めた模様づくりを通して，幾何学的な模様に関心をもち図形感覚を豊かにしている。

単元(題材名)	11. かけ算(1)	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 乗法の意味を知り、「1つ分の数」と「いくつ分」にあたる量を捉えることができる。
	○ 倍の意味を知り、何倍かにあたる量を求めるときも、乗法を用いることがわかる。
	○ 5, 2, 3, 4の段の乗法九九を構成し、確実に唱えることができる。
	○ 乗法に関して成り立つ簡単な性質がわかる。
思・判・表	○ 5, 2, 3, 4の段の九九を使う具体的な問題を解くことができる。
	○ 1つ分の数, いくつ分, 全部の数を関連付けて考えることができる。
	○ 累加や乗数と積の関係など, 乗法について成り立つ性質を用いて乗法九九の構成を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んで見つけようとする。

【評価規準】

知・技	○ かけ算の用語や意味, 式を知り, 答えを累加で求めている。
	○ 与えられた乗法の式になるようにはじきを並べている。
	○ 身の回りから乗法の式になるものを探している。
	○ 1つ分, 2つ分, 3つ分のことを1倍, 2倍, 3倍ということを理解している。
	○ 九九の用語と意味を理解している。
	○ 5のいくつ分かの大きさを求めて, 5の段の九九を構成している。
	○ 5の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 2のいくつ分かの大きさを求めて, 2の段の九九を構成している。
	○ 2の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ かけられる数, かける数の用語と意味を理解している。
	○ 3のいくつ分かの大きさを求めて, 3の段の九九を構成している。
	○ 3の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 4のいくつ分かの大きさを求めて, 4の段の九九を構成している。
	○ 4の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
思・判・表	○ 5, 2, 3, 4の段の九九を使う具体的な問題を解き, その解決方法を説明している。
	○ 1つ分の数, いくつ分, 全部の数を関連付けて考え, 説明している。
	○ 累加や乗数と積の関係など, 乗法について成り立つ性質を用いて九九の構成を考え, 説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んで見つけ, 友だちと話し合っている。

単元(題材名)	12. かけ算(2)	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の乗法九九を構成し, 確実に唱えることができる。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法では乗数が1増えると積は被乗数だけ増えることがわかる。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法の交換法則が成り立つことがわかる。
	○ かけ算九九の表を見て, 分配法則の素地の見方がわかる。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方がわかる。
	○ 何倍かにあたる数を乗法の式に表し求めることができる。
	○ 乗法に関して成り立つ簡単な性質がわかる。
思・判・表	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を使う具体的な問題を解くことができる。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を考え, 説明することができる。
	○ 全体の個数を, 乗法九九を活用して求めたり, 個数を求める図や式から思考過程を読んだりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んでみつけようとする。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を, かけ算九九を活用して考え, 考えたことを友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。
	○ 全体の個数の求め方を, 乗法九九を活用して考え, 考えたことを友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 6のいくつかの大きさを求めて, 6の段の九九を構成している。
	○ 6の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 7のいくつかの大きさを求めて, 7の段の九九を構成している。
	○ 7の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 8のいくつかの大きさを求めて, 8の段の九九を構成している。
	○ 8の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 9のいくつかの大きさを求めて, 9の段の九九を構成している。
	○ 9の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ 1のいくつかの大きさを求めて, 1の段の九九を構成している。
	○ 1の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法では乗数が1増えると積は被乗数だけ増えることを理解している。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法の交換法則が成り立つことを理解している。
	○ かけ算九九の表を見て, 分配法則の素地の見方を理解している。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方がわかる。
	○ 何倍かにあたる数を乗法の式に表して求めている。
思・判・表	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を使う具体的な問題を解き, その解決方法を説明している。
	○ 1つつの数, いくつか, 全部の数を関連付けて考え, 説明している。
	○ 累加や乗数と積の関係など, 乗法について成り立つ性質を用いて九九の構成を考え, 説明している。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を, かけ算九九を活用して考え, 説明している。
	○ 全体の個数を部分に分けて, まとまりごとにたして求める方法を説明している。
	○ ない部分があるものとして全体を求めて, ない部分をひいて求める方法を説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んでみつけ, 友だちと話し合っている。
	○ 全体の個数を求めるのに, 乗法を活用している。
	○ ない部分があるものとして全体を求めて, ない部分をひいて求めている。
	○ 友だちが考えた方法を聞いて, 自分の考えを見直している。

単元(題材名)	13. 4けたの 数	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 10000までの数の数え方，表し方，読み方を知り，十進位取り記数法による数の表し方がわかる。
	○ 10000までの数の相対的な大きさがわかる。
	○ 10000までの数を数直線上に表したり，数直線上に表された数を読んだりすることができる。
	○ 10000までの数について，大小の比べ方を理解し，大小の関係を不等号を使って表すことができる。
	○ 10000という数の大きさや命数法がわかる。
思・判・表	○ 4位数の数を，数の構成をもとにいろいろな見方で表現することができる。
	○ (何百)+(何百)，(何百)−(何百)，(千)−(何百)の計算のしかたを説明することができる。
	○ 100を単位とした1000までの数の加法や減法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数のまとまりに着目して，4位数の数をいろいろな見方で表現しようしたり，何百の計算のしかたを考えようしたりする。

【評価規準】

知・技	○ 位取り板に対応させて，千の位の用語を理解している。
	○ 4位数の読み方や表し方，数のしくみを理解している。
	○ 4位数で空位がある数の表し方や読み方，数のしくみを理解している。
	○ 4位数の相対的な大きさを理解している。
	○ 数直線上の4位数を読み取ったり，4位数を数直線上に表したりしている。
	○ 4位数の大小比較のしかたを理解し，大小の関係を不等号を使って表している。
	○ 1000を10こ集めた数を10000と書いて，一万と読むことを理解している。
	○ (何百)+(何百)，(何百)−(何百)，(千)−(何百)の計算のしかたを理解し，計算している。
思・判・表	○ 4位数の数を，数の構成をもとにいろいろな見方で表現している。
	○ (何百)+(何百)，(何百)−(何百)，(千)−(何百)の計算のしかたを考え，説明している。
	○ 100を単位とした1000までの数の加法や減法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 何千何百の数を1目盛りが100で表された数直線を用いて，いろいろな見方をしている。
	○ (何百)+(何百)，(何百)−(何百)，(千)−(何百)の計算のしかたをわかりやすく説明する工夫をしている。

単元(題材名)	14. 長いものの 長さの たんい	
主領域／領域／内容の区分	C 測定	

【到達目標】

知・技	☐ 長さの単位mを知り, $1\text{m} = 100\text{cm}$ の関係がわかる。
	☐ 1m のもののさしの目盛りを読むことができる。
	☐ m, cmで表された長さの単位換算ができる。
	☐ 長さを予想して測り, 適切な単位で表すことができる。
思・判・表	☐ 1m の長さを予想して測り, 1m の感覚をつかむことができる。
	☐ 目的に応じた単位を適切に選択したり, 単位の間係を説明したりすることができる。
	☐ 加減計算を使って, 長さの適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 身の回りから 1m くらいのもを探すことで, 1m の感覚をつかもうとする。
	☐ 長い長さをmとcmの複名数で表そうとする。

【評価規準】

知・技	☐ 長さの単位mを知り, $1\text{m} = 100\text{cm}$ の関係を理解している。
	☐ 1m のもののさしの目盛りを読んでいる。
	☐ m, cmで表された長さの単位換算をしている。
	☐ 長さを予想して測り, 適切な単位で表している。
思・判・表	☐ 1m の長さを予想して測り, 1m の量感をつかんでいる。
	☐ 身の回りの長さを, 目的に応じた単位を適切に選択している。
	☐ 加減計算を使って, 長さの適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 1m の感覚をもとに, 身の回りから 1m くらいのもを探している。
	☐ 長い長さをmとcmの複名数で表している。

単元(題材名)	15. たし算と ひき算	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	☐ 問題場面の構造をテープ図に表すと、数量の関係が簡潔に捉えられ、演算決定がしやすくなるなどのよさがわかる。
	☐ 数量の関係を表したテープ図を見て、加法と減法の相互関係を理解することができる。
	☐
思・判・表	☐ 逆思考の問題をテープ図に表して、筋道立てて解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 問題場面の構造をテープ図に表し、数量の関係を捉え、問題を解決しようしたり、今後の学習に生かそうしたりする。

【評価規準】

知・技	☐ 問題場面の構造をテープ図に表すしかたを理解している。
	☐ 減法逆の加法の場면을テープ図に表している。
	☐ 減法逆の減法の場면을テープ図に表している。
思・判・表	☐ 加法の逆思考の場面のテープ図から、なぜ減法で求めるのかを説明している。
	☐ 減法逆の加法の場面のテープ図から立式し答えを求めるとともに、その理由を説明している。
	☐ 減法逆の減法の場面のテープ図から立式し答えを求めるとともに、その理由を説明している。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 問題場面の構造を進んでテープ図に表し、数量の関係を捉え、問題を解決している。

単元(題材名)	16. 分数	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	○ 分数の用語とその意味がわかる。
	○ $1/2$, $1/3$, $1/4$ などの簡単な分数について知り，等分した大きさを分数を用いて表すことができる。
	○ 倍と分数との関係がわかる。
思・判・表	○ もとの大きさを2等分した1つ分の大きさを $1/2$ ，3等分した1つ分の大きさを $1/3$ ，4等分した1つ分の大きさを $1/4$ ということを説明することができる。
	○ 倍と分数を関連付けて捉える。
主体的に学習に取り組む態度	○ 具体物を等分してできる部分の大きさの表し方に興味・関心をもち，進んで調べようとする。

【評価規準】

知・技	○ もとの大きさを2等分した1つ分の大きさをもとの大きさの二分の一といい， $1/2$ と書くことを理解している。
	○ もとの大きさを4等分した1つ分の大きさをもとの大きさの四分の一といい， $1/4$ と書くことを理解している。
	○ $1/2$ ， $1/4$ のような数を，分数ということを理解している。
	○ もとの大きさを8等分した1つ分の大きさをもとの大きさの八分の一といい， $1/8$ と書くことを理解している。
	○ もとの大きさを3等分した1つ分の大きさをもとの大きさの三分の一といい， $1/3$ と書くことを理解している。
	○ 2倍と $1/2$ ，4倍と $1/4$ などの関係を理解している。
思・判・表	○ もとの大きさの $1/2$ かどうかの説明をしている。
	○ もとの大きさの $1/4$ ， $1/8$ かどうかの説明をしている。
	○ もとの大きさの $1/3$ かどうかの説明をしている。
	○ 2倍と $1/2$ ，4倍と $1/4$ などの関係を説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 具体物を等分してできる部分の大きさの表し方に興味・関心をもち，折り紙を折って $1/2$ ， $1/4$ ， $1/8$ の大きさをつくっている。

単元(題材名)	17. はこの 形	
主領域／領域／内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 直方体や立方体を構成する面，辺，頂点の構成要素について知り，立体図形の初歩的な概念を理解することができる。
	○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせて立体を構成することができる。
思・判・表	○ 直方体や立方体を構成する面，辺，頂点などの構成要素の特徴を調べることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 直方体や立方体に興味・関心をもち，進んでその特徴を調べようとする。

【評価規準】

知・技	○ 面の用語とその意味を理解している。
	○ 直方体や立方体の面を写し取り，面の形や数，同じ大きさの面がいくつずつあるかを理解している。
	○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせて立体をつくっている。
	○ 直方体や立方体を構成することを通して，面と面の基礎的な位置関係を理解している。
	○ ひごと粘土玉で直方体をつくり，辺の長さや数，頂点の数を理解している。
	○ 立方体の辺の長さや数，頂点の数を理解している。
思・判・表	○ 直方体や立方体の面を写し取り，面の形や数，同じ大きさの面がいくつずつあるかを調べている。
	○ ひごと粘土玉で直方体をつくり，辺の長さや数，頂点の数を調べている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせることを通して，自ら立体の構成や特徴を調べている。

単元(題材名)	2 年のふくしゅう	
主領域／領域／内容の区分	A～D	

【到達目標】

知・技	○ 既習内容の理解を確認する。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	

【評価規準】

知・技	○ 既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	